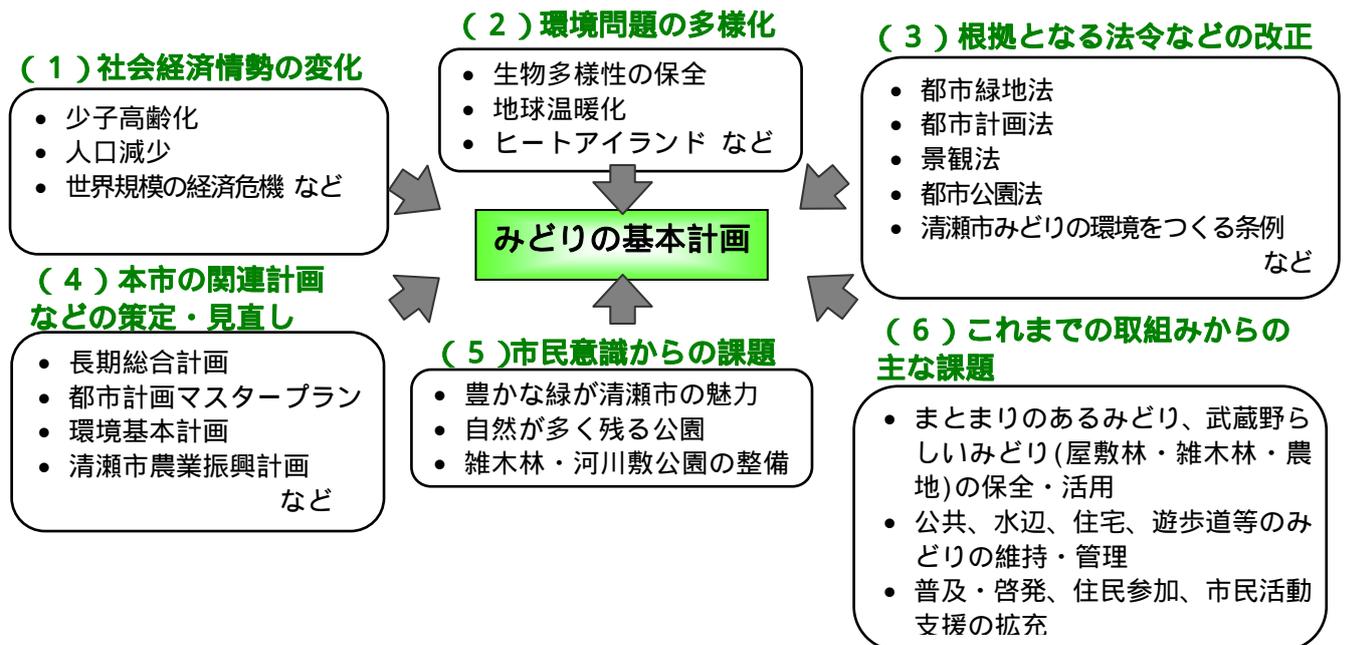


第3章 みどりの課題

1 本計画改定の背景と課題

多様化する環境問題や社会経済情勢の変化、根拠法令の改正や条例の制定など、みどりに係る様々な課題を踏まえ、現況に即した計画とします。



「みどりの基本計画」策定の主な背景と課題

(1) 社会経済情勢の変化

少子高齢化・人口減少社会の急速な進展、市民の価値観やライフスタイルの多様化、安全・安心なまちづくりの必要性といった社会情勢に対応するため、みどりが有する多様な機能を活かしたまちづくりを進めていく必要があります。

例えば、高齢化社会に向けての歩行者空間の整備・バリアフリーの生活空間づくりや、身近な公園・緑地の整備が必要となります。また、余暇の過ごし方や住民意識の多様化に合わせ、自然地形・植生を活かした環境学習の拠点となる公園の整備や、イベント・文化活動・様々なスポーツの拠点となる公園整備、住民参加による公園の管理の検討が必要となります。

安全で安心できるまちづくりのため、樹林に囲まれた避難地・オープンスペースの確保や、防災に役立つみどりのネットワークの形成や、それらネットワークをつくる街路樹や雑木林の適切な維持管理方策の検討や、多様な管理・運営による農村空間の復活、生態系を維持していくための管理方策の検討が必要です。

(2) 環境問題の多様化

生物多様性の保全、気候変動、ヒートアイランドなど、近年多様化する環境問題や、多発化する局地的豪雨などに対応するため、みどりの適切な保全・創出・維持管理を計画的に進めていく必要があります。

(3) 根拠となる法令などの改正

計画策定の根拠法令(「都市緑地法」及び「都市公園法」)が改正(平成16年)され、緑地の保全や緑化の推進に関する新たな制度が創設されたことに加え、計画策定事項に「都市公園の整備方針」が追加されました。

また、本市では、清瀬の特徴である豊かなみどりを市民の共通財産とし、この財産を次の世代に継承し、市、市民、事業者及び所有者が連携・協働してみどりの保全と創生をするため、これらの法令などの改正に対応した計画とする必要があります。

(4) 本市の関連計画などの策定・見直し

「長期総合計画」「都市計画マスタープラン」「環境基本計画」「清瀬市農業振興計画」など本市の関連計画の、まちづくりテーマや将来都市像との整合を図り、計画に反映させる必要があります。

市の長期総合計画、都市計画マスタープラン、環境基本計画における主なキーワード

活力とにぎわい、新時代、やすらぎ、健康福祉、農とふれあい、水とみどり、武蔵野らしい景観保全、緑化、人と自然が共生、循環型社会、利便性、産業の育成、交流、安全・安心な都市、地球環境の保全

(5) 市民意識からの課題

今回実施した市民意識調査の結果、多くの市民は「みどりの豊かさ」を市の魅力と捉えており、豊かな自然環境が定住の一つの要因になっています。近所のみどりについては、みどりは多く満足していると答えた市民が半数を超えています。

市民アンケートの回答

- ・みどりは多く満足している(55.0%)
- ・みどりは比較的多いが、まだ足りない(19.6%)

一方で、街路樹の葉で街灯が遮られ、歩道が暗くなる等の問題や、落ち葉等の処理が大変等のみどりの引き起こすとの市民からの声もあり、今後の維持・管理の在り方を考える必要があります。また、後継者不足等により年々減る畑地の対応についても検討が必要です。以下に市民アンケートから出た市民の意見をまとめます。

1) みどりの問題点

みどりの問題点については、毛虫や蚊などの害虫が増える、手入れが大変である、落葉が多い、道路標識が見えにくいなど様々な意見があり、特に街路樹のみどりについては、市民の快適な生活のために頻繁な整備が必要とされています。

市民アンケートの回答

- ・手入れが大変である(18.8%)
- ・毛虫や蚊などの外注が増える(16.8%)
- ・落ち葉が多い(15.9%)
- ・道路標識などが見えにくい(15.1%)
- ・枝が通路などをふせぐ(11.5%)

その他のご意見

- ・街路樹の葉で街灯が遮られ、歩道が夜に暗くなり危険である。
- ・管理を行える範囲のみどりを残すべき。
- ・予算を取り木々の枝切りや下草刈りを計画的に実行して欲しい。

2) みどりとの関わり方

みどりとの関わり方では、意識はあるが機会がない等の意見が一番多く、今後市民がみどりの維持・管理に積極的に関わることのできる環境を様々な場面で確立・整備する必要があります。同時に市民の意識を高めるためのPRの工夫が必要です。

市民アンケートの回答

- ・今までボランティアとして参加したことはないが、機会があれば参加したい(59.1%)
- ・関心がない、わからない(19.9%)
- ・わずらわしいので参加したくない(15.8%)

その他のご意見

- ・雑木林の維持管理をしていくための基金の創設や市民ボランティアの制度が必要。
- ・市民や事業所など参加できる自然学習体験の場としての雑木林の活用

3) 農地について

清瀬市のみどりの一番大きな面積を占める農地については、市民のほとんどが残したいという意見であることが分かりました。後継者不足等の問題がある中、今後どのようにして残していくかは大変大きな課題です。

市民アンケートの回答

- ・重要な産業・食料確保の場であるので残したい(38.8%)
- ・重要なみどりなので残したい(34.3%)
- ・癒しの場所や散歩コースのある緑地空間として利用したい(23.2%)

その他のご意見

- ・春先農地から吹き飛ばされてくる黄砂に困っている。

4) みどりの役割について

みどりの役割についての市民の意見では、季節感、歴史的景観の継承の他に、現在の世界的な環境問題に関連する意識を持った回答も比較的多く見られました。これらの要素はこれから10年間の基本計画に含める必要があります。

市民アンケートの回答

- ・私たちの心に安らぎを与え、ストレスや疲れをいやし、リフレッシュさせてくれる(29.5%)。
- ・地球温暖化防止のために重要な機能があり、都市部におけるヒートアイランド現象の緩和効果もある(24.8%)
- ・季節感など美しい景観の形成や歴史的景観を継承する重要な要素である(20.6%)
- ・多様な生物の生息・生育・繁殖の場となる(12.4%)

5) 残したい・増やしたいみどりについて

清瀬市で残しておきたいみどりについては、けやき通りなどのケヤキ並木が29.6%、柳瀬川・空堀川・柳瀬川とその水辺が18.5%、平地の雑木林が12.7%と比較的多く、他にも鎮守の森や病院街、農地(畑)と答えた市民もいました。また、増やしてほしいみどりについては、公園、道路、公共施設等市民が普段利用できる公園・広場や河川敷のみどりの需要が高いことがわかりました。

市民アンケートの回答

- ・公園・広場(30.7%)
- ・道路(街路樹)(19.8%)
- ・学校・公共施設(19.6%)
- ・堤防・河川敷(14.7%)

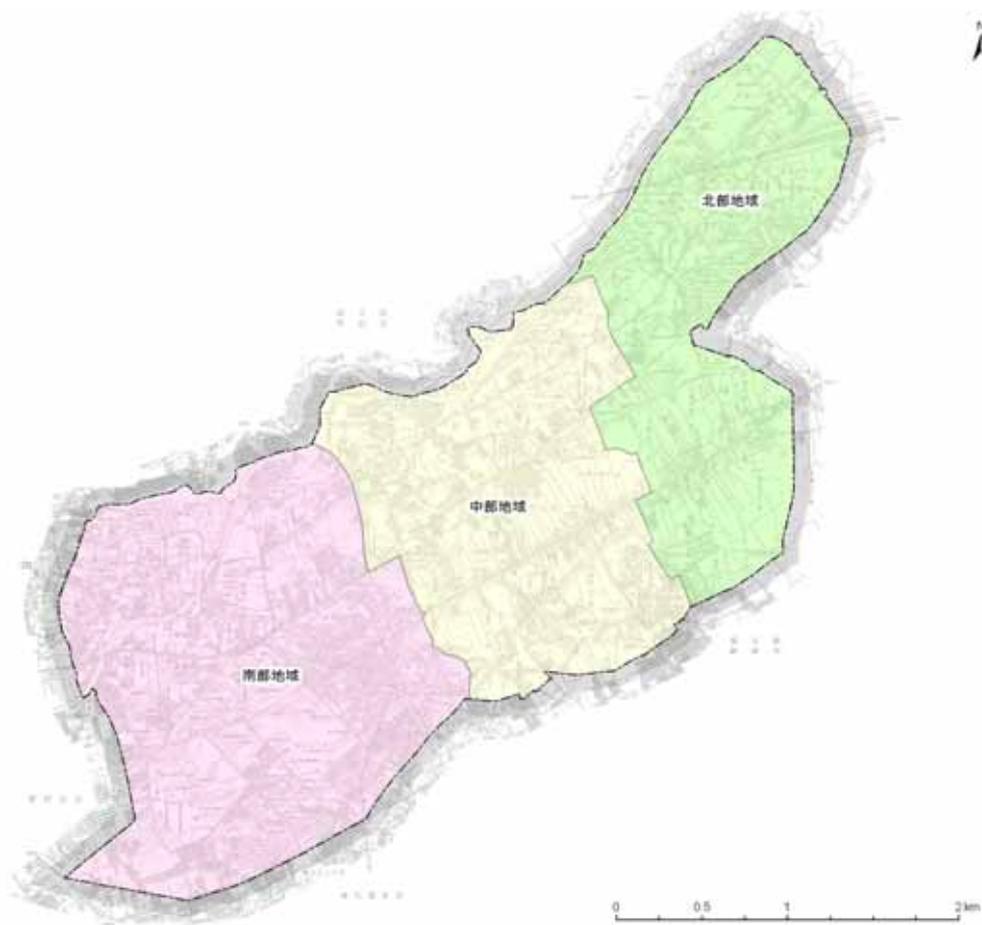
(6) これまでの取組みからの主な課題

みどりの維持・管理	公共施設等のみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の樹木の維持・管理 ・ 公共施設や商業街の緑化 ・ 公共施設等のみどりの更新や適切な維持管理
	公園のみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の維持・管理、古い公園のリニューアル ・ 都市基幹公園の整備実現のための取組 ・ 住区基幹公園の計画的な整備 ・ ポケットパークや広場の設置による市民の憩いの場づくり
	道路のみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・ けやき通り、志木街道などに代表される街路樹の景観保全のための歩道等維持管理 ・ 高木・老木化した街路樹の更新・剪定を含めた定期的な維持管理及びその事業化 ・ みどりの散歩道の緑化及び維持管理
	住宅地、商店街のみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地緑化推進のためのパンフレット等の作成 ・ 生け垣助成制度の拡充や開発時の指導強化
	雑木林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地保全地域等（民地を含む）指定樹林保全方針の策定及び実施 ・ 雑木林の公有地化を図るための緑地保全基金や補助金などの財政的支援 ・ 希少植物の保全 ・ 不法投棄の防止
	農地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園緑地としての確保 ・ 農産物市内消費システム構築のための農産物ブランド化の推進 ・ 農業者の高齢化や後継者不足の対策
	屋敷林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋敷林を守るための基礎データ収集 ・ 屋敷林保持者の高齢化への対応
	水辺のみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳瀬川回廊を基軸とした施設の更なる充実 ・ 散策コースの再整備
みどりをいっしょに む心をはぐくむ	普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の保全緑地や市有林の紹介、回廊などのPRの充実
	協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雑木林などの維持管理の住民参加の推進 ・ 市民、企業、行政の連携のしくみづくり
	支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化活動先進事例などの支援 ・ 各ボランティア団体の活動の支援

2 地域別の課題

現計画が策定された平成 10 年 3 月以降、平成 13 年 3 月に清瀬市都市計画マスタープランが策定され、まちづくり整備方針の 1 つとしてみどりと水の整備方針を示しています。また、地域別構想として、南部、中部、北部の 3 地域について、地域の現状、課題、将来像、まちづくり方針を示しています。

みどりの基本計画は、都市計画マスタープランと整合をとる必要があることから、都市計画マスタープランの地域別構想に基づき、今回のみどりの基本計画策定にあたって、地域別の課題を整理しました。

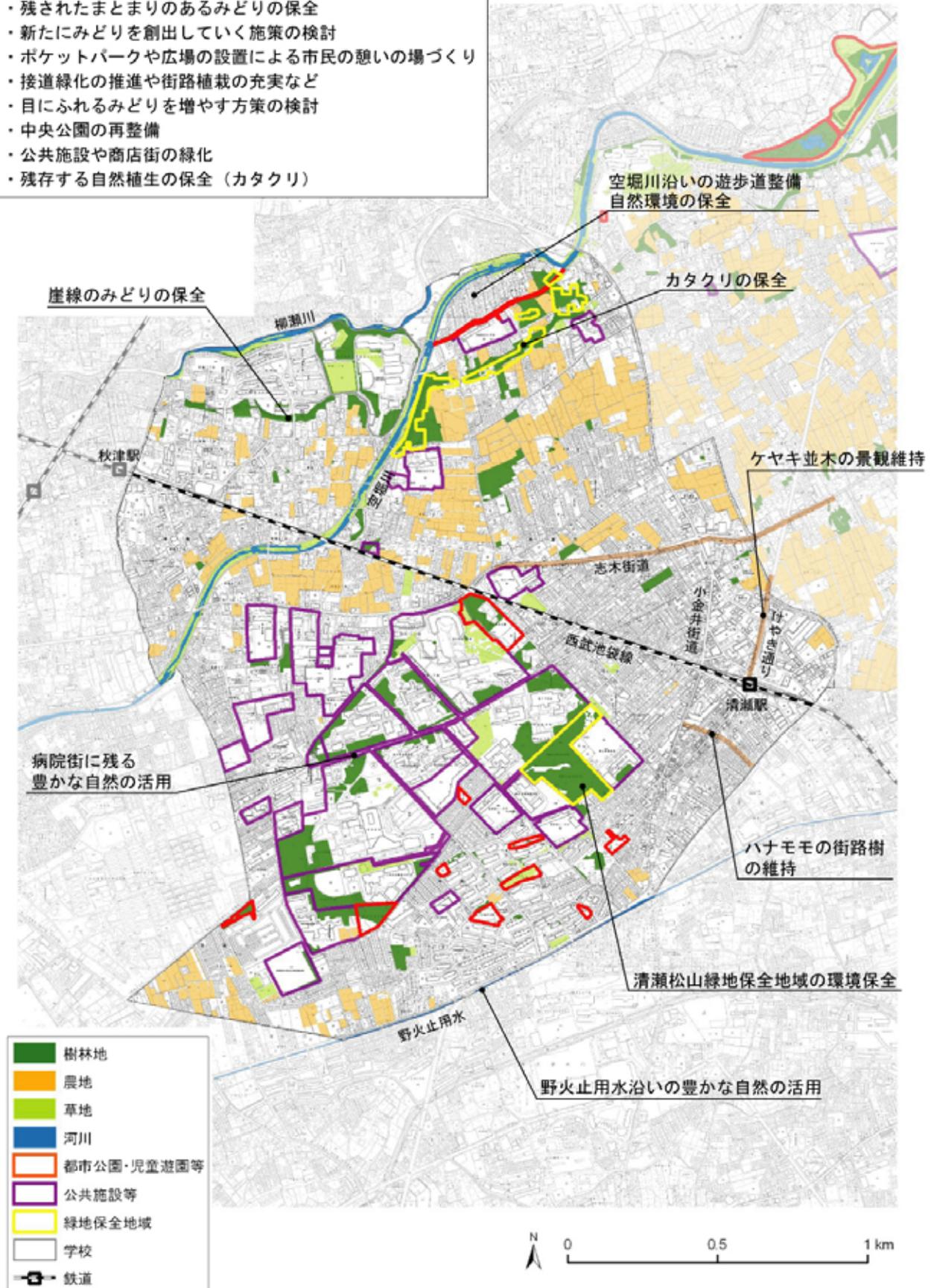


地域区分図

地域	地域の現況	地域の課題
南部地域	<p>清瀬駅・秋津駅周辺の市街地と東京病院を中心とした病院街および清瀬中里の緑地保全地域を中心に農地、樹林の多い地区により形成されています。</p> <p>地域の北部には、まとまった農地が残され、空堀川・柳瀬川や雑木林などの自然資源がみられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生け垣等の接道緑化の推進や街路植栽の充実 • 豊かな自然が残る病院街の敷地を憩いの空間として活用できるよう検討 • 空堀川、野火止用水の自然環境、雑木林の維持とその活用 • 中央公園の再整備
中部地域	<p>地域の中央に市役所が位置し、けやき通り沿いや地域の北側を流れる柳瀬川沿いに大規模団地があります。</p> <p>地域内には、まとまった農地も多く、柳瀬川沿いのみどりやけやき通り沿いの街路樹などとあわせ、みどり豊かな住宅地が形成されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体験型農園をはじめとするふれあい農業の推進 • 農地の保全や防災拠点としての有効活用 • 志木街道の沿道環境（屋敷林や雑木林）の維持と武蔵野らしい景観を取り入れたまちづくり • 地産地消を推進する直売所等の充実 • 金山緑地公園や柳瀬川周辺の自然環境の維持・保全 • 生垣緑化の推進や街路植栽の充実など目にふれるみどりを増やす方策の検討 • 柳瀬川周辺の自然と下宿の運動公園と連携したスポーツ・レクリエーションゾーンの充実 • けやき通りをはじめとする街路樹の樹木の高木・老木化への対応 • 清瀬特有の崖線のみどりの保全
北部地域	<p>地域内には、大規模団地や運動公園、まとまった農地がみられ、ゆとりある住宅地が形成されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体験型農園をはじめとするふれあい農業の推進 • 雑木林や農地の保全、活用 • 志木街道や台田団地等の歴史的景観の保全 • 内山運動公園の整備によるスポーツ・レクリエーション施設の充実 • （仮称）清瀬大和田公園の整備 • 清瀬特有の崖線のみどりの保全

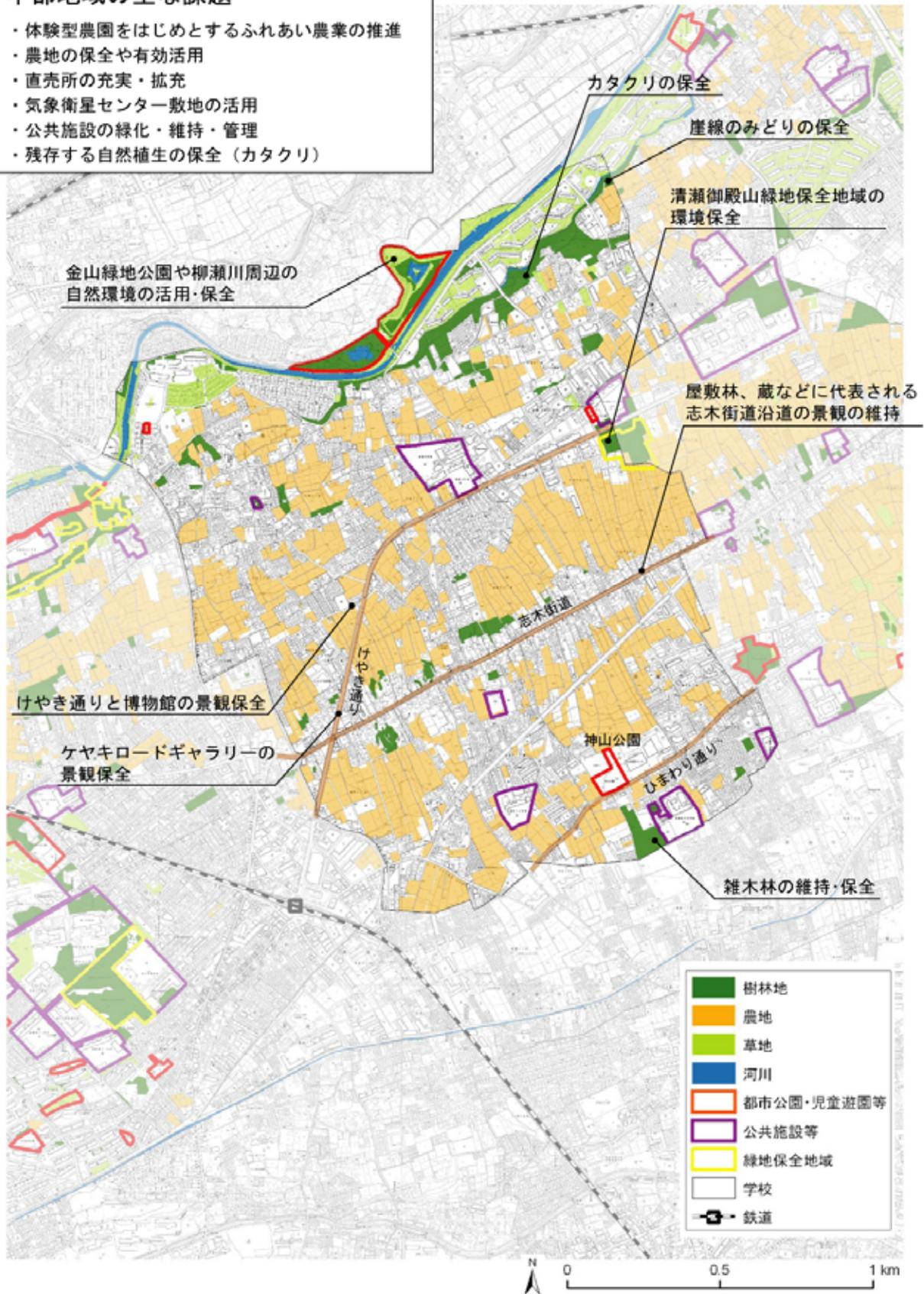
南部地域の主な課題

- ・残されたまとまりのあるみどりの保全
- ・新たにみどりを創出していく施策の検討
- ・ポケットパークや広場の設置による市民の憩いの場づくり
- ・接道緑化の推進や街路植栽の充実など
- ・目にふれるみどりを増やす方策の検討
- ・中央公園の再整備
- ・公共施設や商店街の緑化
- ・残存する自然植生の保全（カタクリ）



中部地域の主な課題

- ・体験型農園をはじめとするふれあい農業の推進
- ・農地の保全や有効活用
- ・直売所の充実・拡充
- ・気象衛星センター敷地の活用
- ・公共施設の緑化・維持・管理
- ・残存する自然植生の保全（カタクリ）



北部地域の主な課題

- ・体験型農園をはじめとするふれあい農業の推進
- ・農地の保全
- ・観光農園の育成
- ・雑木林の保全対策
- ・水とみどりのネットワークづくり
- ・みどりへの不法投棄の防止

柳瀬川の桜並木の保全
水辺レクリエーションの拠点として
整備・活用

清瀬内山運動公園

JR 武蔵野線

連続するみどりの保全

崖線のみどりの保全

台田団地

旭が丘通り

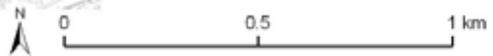
屋敷林、蔵などに代表される
志木街道沿道の景観の維持

志木街道

(仮称) 清瀬大和田公園の整備

清瀬御殿山緑地保全地域の
環境保全

ひまわり通り



3 計画改定における視点

本計画策定の背景と課題を踏まえ、計画改訂における視点を以下にまとめます。

計画改定における視点

現在のみどりを次世代につなげていくための、市民・企業・行政の協働による維持・管理のしくみを構築する

地球環境や自然環境に配慮し、都市におけるみどりの重要性を踏まえる

多様な生物の生育環境となるみどりの保全・創出と、みどりのネットワークに配慮する

市民生活におけるみどりの大切さを認識し、誰もがみどりを身近に感じられるように配慮する

多くの人々が住み、活気にあふれ、交流が広がるまちづくりに、みどりを積極的に活かす

安全・安心のまちづくりに、みどりが持つ役割・機能を果たし、適切に守り、つくり、育てる

みどりは景観を形成する大切な要素と捉え、武蔵野らしい景観の向上に努める

市民の快適な生活を維持するため、みどりの適切な管理体制を構築する